

シリアの節水灌漑普及ツール <最終回>

このシリーズではシリア国節水灌漑農業普及計画プロジェクト(DEITEX)で製作された節水灌漑普及ツールについて紹介してきた。普及ツールは、普及員が農家への普及活動を行う際に利用法の説明とともに農家へ配布し、農家が日々の農作業でこれら普及ツールを使用することにより、節水灌漑に関する知識や意識を高めることを目的としている。

DEITEX では、節水灌漑を達成するためには、「農家自身が節水灌漑に対して前向きに取り組まなければならない」という思いから、灌漑システムや作物要水量への理解だけでなく、意識も変えるような普及活動が必要であると考え、ハード、ソフト、マインドを普及活動の3本柱とした。また、農家の抱えている問題やニーズに基づいたテーマで普及員研修を行い、普及員はその研修に基づいて普及活動を農家へ行うという、目標達成型研修・普及方式を導入した(AAINews 第68号)。

普及活動では、節水灌漑普及ツールを導入することにより、これまで農家へ実施することが難しかったソフト面やマインド面での普及活動も実施しやすくなり、農家の節水灌漑への理解度や意識も向上した。流量測定キットを使用した農家は、自分の圃場の灌水状況を把握することで、自らエミッターの目詰まりを直したり、適切なエミッターを購入したりといった行動変容が現れた。また、灌漑早見表と灌漑手帳を使用した農家は、農家自身の圃場で灌水試験を行い、適切な灌水量についての理解を深めた。普及員とコンビを組み、灌漑手帳の記帳に基づいて営農診断を行った農家もいた。

このように、農家のニーズにピンポイントで応えられるツールを利用することにより、農家の意識や積極性を高めることができたと感じている。また、これら普及ツールは農家と普及員とをつなぐコミュニケーション・ツールとしても有効である。灌漑手帳への記帳により農家の抱える問題点が具体的となれば、普及員のアドバイスも的確となり問題が解決できる可能性も高まる。それは、農家と普及員との信頼関係の構築に結びついていく。ポスターやリーフレットといった受動的な普及ツールだけでなく、農家や普及員が実際に圃場で使えるようなツールを普及活動の中で積極的に活用することにより、普及活動内容の改善や農家の節水灌漑技術への理解と意識の向上に寄与できたと感じている。

普及活動の3本柱と普及ツールとの関係

普及ツール	普及活動の3本柱		
	ハード	ソフト	マインド
流量測定キット	○	○	
灌漑早見表		○	
灌漑手帳			○
デジタル灌漑手帳		○	○

